

# NEXO

45°N  
12

NEXO 45°N 12

ラインモニター

取扱説明書

## ご使用前によくお読みください

### ご使用前の基本的な注意

スピーカーシステムの中を開けたり、内蔵部品の取り外しや改造を決して行わないでください。スピーカーシステムにはお客様がご自分で修理サービスできる部品は含まれていません。故障や損傷が疑われる場合は、すぐに使用を中止し、認定のNEXOサービス担当者にご連絡ください。

**水にぬらさないこと：**雨にぬらしたり、水に近い場所やぬれた場所で使用しないでください。液体の入った容器をスピーカーシステムの上に置かないでください。液体がこぼれてスピーカー内に入るおそれがあります。水などの液体がスピーカー内に入った場合は、認定のNEXOサービス担当者にご連絡して点検を依頼してください。

### スピーカー設置時の安全上の注意



設置前に本書をお読みください。この密閉型のスピーカーシステムを使用する前に、設置担当者は、スピーカーシステムの取扱説明書に記載されている装備、積載、ポール取り付け上の安全上の規則を必ず理解してください。この規則が守られないと、怪我や死亡事故につながる可能性があります。

設置の際に工事が必要な場合は必ず認定のNEXO担当者にご相談ください。また、以下の注意事項を守ってください。

#### 取り付け時の注意

- スピーカーシステムの重量に耐えられる取付金具と取り付け場所を選んでください。
- スピーカーシステムを吊るす場合はスピーカーのハンドルを使用しないでください。
- コンポーネントの損傷を防ぐため、ほこりや振動の多い場所、極度の低温下や高温下での使用は避けてください。
- スピーカーシステムの落下や転倒の可能性のある不安定な場所には置かないでください。
- スピーカーシステムにスタンドを使用する場合は、スタンドの仕様が適切で高さが 1.40 メートル (55 インチ) を超えないようにしてください。また、スピーカーを取り付けた状態でスタンドを移動しないでください。

#### 接続時および電源投入時の注意

- スピーカーシステムを移動する前に、接続ケーブルをすべて外してください。
- スピーカーシステムを接続する前に、すべてのパワーアンプの電源を切ってください。
- オーディオシステムに電源を入れる際は、常にパワーアンプの電源を最後に入れてください。またオーディオシステムの電源を切る際は、パワーアンプの電源を必ず最初に切ってください。
- 低気温下で使用する場合、電源を入れてからラウドスピーカーの各コンポーネントの状態が安定するまで数分かかります。最初の5分間はゆっくりとボリュームアップを行ってください。

スピーカーシステムは定期的に点検してください。





## NEXO TD コントローラーに関する安全上の注意



NEXO アナログ PSTD コントローラー、NX242 デジタルコントローラー、NXAMP4x1 および NXAMP4x4 パワードコントローラーはクラス 1 機器です。必ず接地してください。

電源コードの緑と黄色のワイヤーは、設置安全用のアースに常に接続しておいてください。アースは、人身の安全だけでなく、システムの正常な作動のためにも必須で、金属表面すべてに内部接続されています。

- 説明内容をよくお読みください。
- 説明書を保管してください。
- すべての警告に従ってください。
- すべての指示に従ってください。
- 本機器を水の近くで使用しないでください。
- 清掃には乾いた布のみを使用してください。
- 通風孔をふさがしないでください。メーカーの指示に従って設置してください。
- ラジエータ、暖房、コンロ、その他熱を発生する器具（アンプも含む）などの熱源の近くに設置しないでください。
- 極性プラグまたは接地付プラグの安全性機能を損なわないでください。極性プラグには互いに幅の異なる 2 本の刃が付いています。接地付プラグは 2 本の刃と 1 本の接地用ピンが付いています。幅の広いほうの刃または接地用ピンは安全のために取り付けられています。同梱のコードのプラグがコンセントに入らない場合は、電気工事店に依頼して従来のコンセント用に交換してください。（米国市場）
- 電源コード、特にそのプラグ部分やコンセント近辺、機器への接続部分を踏んだり何かで挟んだりしないようにしてください。
- メーカーが指定した取り付け部品/アクセサリのみを使用してください。
- 雷の鳴っている時や長期間使用しない場合はコンセントから外してください。
- 修理サービスは認定のサービス業者に依頼してください。機器の電源コードやプラグが損傷するなど機器が損傷した場合、液体が機器内にこぼれたり異物が入った場合、機器が雨に濡れたり湿気にさらされたりした場合、正常に作動しない場合、落下した場合は、修理サービスが必要です。

 <p>The lightning flash with arrowhead symbol, within an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of uninsulated "dangerous voltage" within the product's enclosure that may be of sufficient magnitude to constitute a risk of electric shock to persons.</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;">  <div style="text-align: center;"> <p><b>CAUTION</b></p> <p>RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN</p> </div>  </div> <p><b>WARNING: To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture.</b></p> <p>To avoid electrical shock, do not remove covers. Dangerous voltages exist inside. Refer all servicing to qualified personnel only.</p>	 <p>The exclamation point within an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the appliance.</p>
---	---	---

## 高音圧レベル



極度に高いレベルのノイズでは聴力が永久的に失われる可能性があります。ノイズによる聴力の損失は個人によって大きく異なりますが、非常にレベルの高いノイズに長時間さらされると、ほとんど誰もが聴力をある程度失います。米国政府の労働安全衛生庁 (OSHA) は以下のノイズ許容レベルを設定しています。レベルと時間数の関係：

1 日内の時間数	音量レベル (dBA) 、スロー・レスポンス
8	90
6	92
4	65
3	97
2	100
1 ½	102
1	105
½	110
¼ 以下	115

OSHA によると、上記の許可規制値を超える騒音にさらされると、ある程度の聴力の損失が生じます。このアンプシステムを使用する時に、上記の限度を超える場合は、聴力が永久的に損なわれないよう、必ず耳栓や防音保護具を耳の中や耳の上から装着してください。危険なレベルの高音圧に対応するために、このアンプシステムなどの高音圧レベルを発生する可能性のある機器を取り扱う人はすべて、操作中に防音保護具を装着することをお勧めします。

## 不要になった電気・電子機器の処分



製品上または梱包上にあるこのマークは、製品を家庭のごみとして取り扱ってはならないことを示しています。処分する際は、電気・電子機器リサイクルのための適切な回収センターに受け渡してください。適切な処分をしないと、環境や人体の健康への悪影響が生じる可能性があるため、これを避けるためにも、この製品を必ず正しく処分してください。リサイクルすることで自然資源の保護につながります。本製品のリサイクルについての詳細は、お住まいの地域の市役所、ごみ収集サービス会社または製品を購入された販売店までご連絡ください。

## 目次

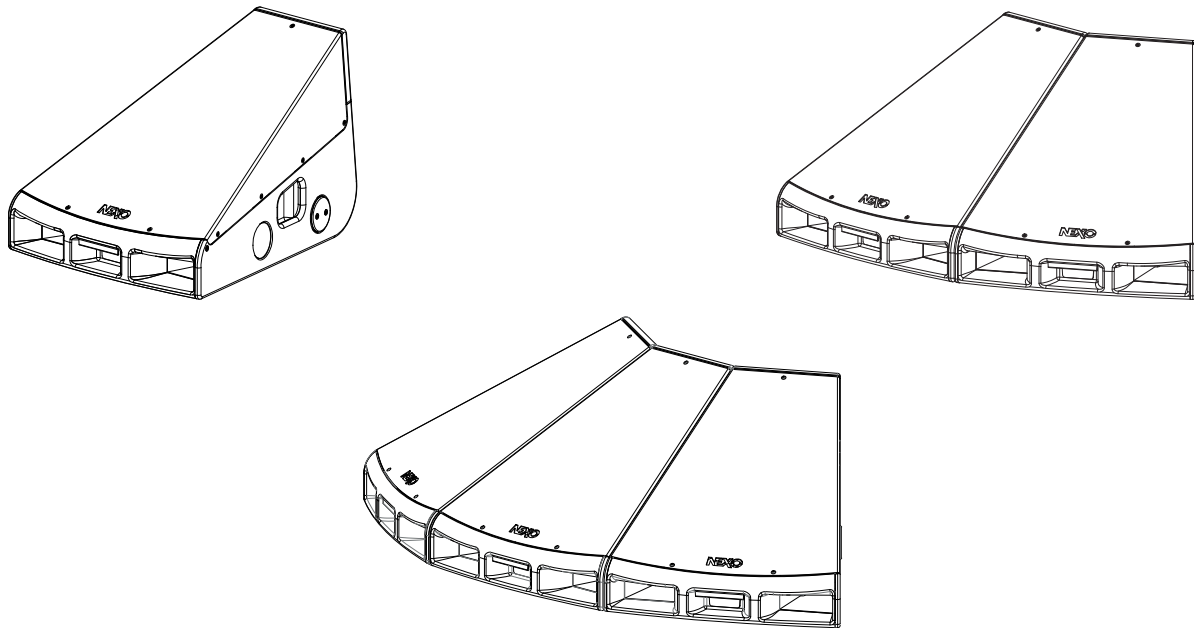
<b>1</b>	<b>はじめに .....</b>	<b>8</b>
<b>2</b>	<b>45N12 の一般的なセットアップ手順 .....</b>	<b>10</b>
2.1	スピーカー 接続.....	10
2.1.1	45° N-12 端子パネル.....	10
2.1.2	45N12 のパッシブ/アクティブモードの設定.....	10
2.1.3	ケーブル接続.....	11
<b>3</b>	<b>45° N-12 で使用する アンプの選択 .....</b>	<b>13</b>
3.1	45N12 推奨アンプ.....	13
3.1.1	電流定格値.....	13
3.1.2	アンプの設定.....	13
3.2	45° N-12 およびNXAMP TDコントローラー.....	15
3.2.1	NXAMP の端子類.....	15
3.2.2	45° N-12 およびNXAMP の推奨設定.....	15
<b>4</b>	<b>接続図.....</b>	<b>17</b>
4.1	45° N-12 / NXAMP4x1 - ブリッジステレオ - アクティブモード.....	17
4.2	45° N-12 / NXAMP4x1 - ブリッジステレオ - パッシブモード.....	18
4.3	45N12 / NXAMP4x4 - 4 チャンネル - アクティブモード.....	19
4.4	45° N-12 / NXAMP4x4 - 4 チャンネル - パッシブモード.....	20
4.5	45° N-12 / NX242-ES4 - アクティブモード.....	21
4.6	45° N-12 / NX242-ES4 - パッシブモード.....	22
<b>5</b>	<b>使用ガイドライン .....</b>	<b>23</b>
5.1	安全第一.....	23
5.2	45° N-12 の指向角度.....	23
5.3	ステージ上での 45 N-12 の取り扱い.....	24
5.4	ステージモニターとしての使用.....	25
5.5	システムの試験と保守.....	26
<b>6</b>	<b>45° N-12 技術仕様 .....</b>	<b>27</b>
6.1	システム仕様.....	27
6.2	寸法.....	28

6.3	コンポーネントリスト .....	28
7	ユーザーメモ .....	29
1	はじめに .....	8
2	45N12 の一般的なセットアップ手順 .....	10
2.1	スピーカー 接続 .....	10
2.1.1	45° N-12 端子パネル .....	10
2.1.2	45N12 のパッシブ/アクティブモードの設定 .....	10
2.1.3	ケーブル接続 .....	11
3	45° N-12 で使用する アンプの選択 .....	13
3.1	45N12 推奨アンプ .....	13
3.1.1	電流定格値 .....	13
3.1.2	アンプの設定 .....	13
3.2	45° N-12 およびNXAMP TDコントローラー .....	15
3.2.1	NXAMP の端子類 .....	15
3.2.2	45° N-12 およびNXAMP の推奨設定 .....	15
4	接続図 .....	17
4.1	45° N-12 / NXAMP4x1 - ブリッジステレオ - アクティブモード .....	17
4.2	45° N-12 / NXAMP4x1 - ブリッジステレオ - パッシブモード .....	18
4.3	45N12 / NXAMP4x4 - 4 チャンネル - アクティブモード .....	19
4.4	45° N-12 / NXAMP4x4 - 4 チャンネル - パッシブモード .....	20
4.5	45° N-12 / NX242-ES4 - アクティブモード .....	21
4.6	45° N-12 / NX242-ES4 - パッシブモード .....	22
5	使用ガイドライン .....	23
5.1	安全第一 .....	23
5.2	45° N-12 の指向角度 .....	23
5.3	ステージ上での 45 N-12 の取り扱い .....	24
5.4	ステージモニターとしての使用 .....	25
5.5	システムの試験と保守 .....	26
6	45° N-12 技術仕様 .....	27

---

6.1	システム仕様.....	27
6.2	寸法.....	28
6.3	コンポーネントリスト.....	28
7	ユーザーメモ .....	29

## 1 はじめに



このたびは NEXO 45° N-12 フロアモニターをお選びいただきまして誠にありがとうございます。

NEXO 45° N-12 モニターラウドスピーカーはステージサウンドにおける斬新なコンセプトに基づいた初のラインモニター用の製品です。

この革新的な NEXO 45° N-12 ウェッジモニターは、ラインアレイテクノロジーの利点すべてをステージ上にもたらしてくれます。

高性能ラウドスピーカーのGEOシリーズに使用されている、NEXOの特許取得済み双曲面反射型ウェーブソースを土台にしています。この設計の仕組みは、フロント波形を決定するために強制型ではなく反射を使用して、ウェーブソーシング、つまりエンクロージャー自体の背後とステージの下にバーチャル・アコースティック・ソースを作成することにあります。

従来の長方形の高周波ウェーブガイドと異なり、NEXOモニターのウェーブガイドにより、キャビネットをリンクさせてもウェーブフロント間で互いに干渉することなくアレイを形成することができます。

ステージモニタリングの用途では以下の実践的な利点があります。

- 指向角エリアで安定した周波数特性；
- 音圧レベルとフィードバック閾値がより高い；
- 両脇ではシャープなアッテネーション；
- 指向角と音圧レベルを調整可能

本書ではNEXO 45° N-12 フロアモニターシステムについての必要かつ有益な情報を提供します。



どのNEXOシステムでも、NEXO 45° N-12 は専用の NEXO TD コントローラーで操作、電源オン/オフ、モニターします。

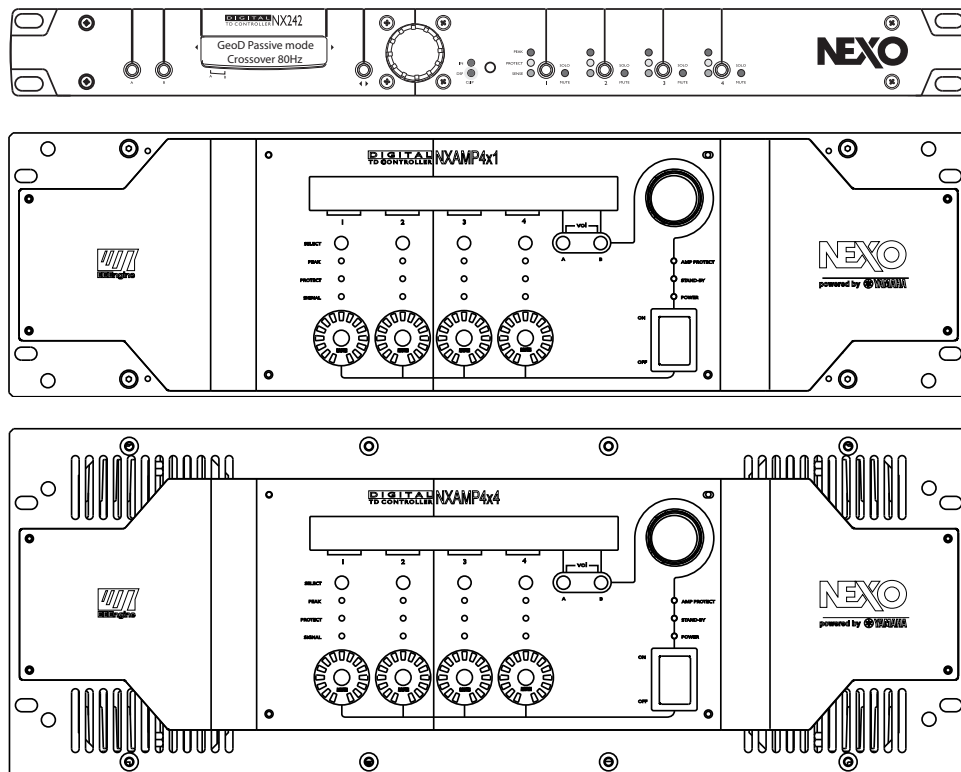
NX242-ES4 デジタルTDコントローラーは様々な設定で、N12 ラインモニターを包括的にコントロールします。 Ethersound™ デジタルオーディオネットワークや、ネットワーク上の全ユニットのリモートコントロールが可能です。アナログ 2 系統、デジタル入力 4 系統、アナログ出力 4 系統、デジタル出力 4 系統が装備されています。

### 重要注意事項

**N12 をセットアップするには、NX242 に NX-Tension カード (NX-ES4) の装着が必要です。**

パワーデジタルコントローラー、NXAMP4x1 および NXAMP 4x4 は、様々な設定で 45N12 の完全なコントロールと増幅を提供します。両機器とも、アナログ入力 4 系統、スピーカー出力 4 系統を装備しています。別売のカードを装着すると、Ethersound™ デジタルオーディオネットワークフォーマットでデジタル入力 4 系統の使用と、ネットワーク上の全ユニットの遠隔操作が可能になります。

これらのコントロールについての詳細は、取扱説明書をご参照ください。NX242 およびNXAMP DSPのアルゴリズムとパラメータはソフトウェアで設定されており、定期的に更新されます。最新のソフトウェアのリリースについては、NEXO ウェブサイト ([www.nexo.fr](http://www.nexo.fr)) をご覧ください。



## 2 45N12 の一般的なセットアップ手順

### 2.1 スピーカー 接続

NEXO 45° N-12 スピコン NL4FC プラグ (別売) と接続します。各キャビネットの背面にある接続パネルには配線図が印刷されています。I N/O U T の 2 つのスピコンソケットの各 4 本のピンがエンクロージャ内で並列に接続されます。

どちらの端子を、アンプ接続または別の 45N12 キャビネットへのリンクに使用してもかまいません。

#### 2.1.1 45° N-12 端子パネル



端子は以下のように配線されています。

スピコン 端子		パッシブ モード	アクティブ モード
1 (-)	⇒	未接続	45N12 LF (-)
1 (+)	⇒	未接続	45N12 LF (+)
2 (-)	⇒	45N12 (-)	45N12 HF (-)
2 (+)	⇒	45N12 (+)	45N12 HF (+)

#### 2.1.2 45N12 のパッシブ/アクティブモードの設定

##### 重要注意事項

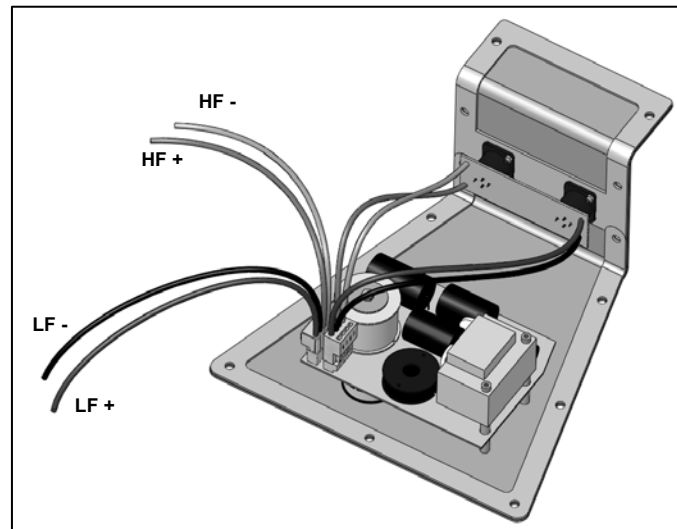
**45N12 は工場出荷時にアクティブモードに設定されています。**

アクティブ/パッシブ設定の変更手順：

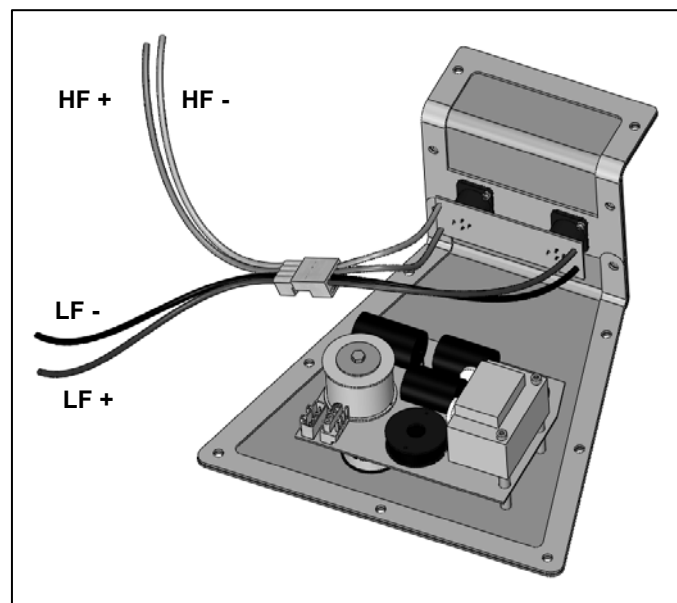
- 背面/底面の金属パネルを止めている TORX ネジを外します。
- 背面/底面の金属パネルを外して、パッシブネットワーク WAGO コネクタにアクセスできるようにします。

パッシブモードでは、WAGO コネクタを “Passive In” に挿入し、スピーカーの WAGO コネクタを “Passive Out” に挿入します。

アクティブモードでは、WAGO コネクタをスピーカーの WAGO コネクタを介して直接スピーカーに接続します（パッシブフィルターをバイパス）。



パッシブモード設定



アクティブモード設定

### 2.1.3 ケーブル接続

NEXOでは、システム接続にマルチコンダクタケーブルのみの使用を推奨しています。ケーブルキットはすべてのキャビネットに対応しており、低域/高域を混同する心配はありません。

ケーブルの選択で重要なのは、負荷抵抗とケーブル長に対して正しい断面寸法（サイズ）を選ぶことです。ケーブルの断面が小さすぎると直列抵抗と容量が増大し、これによってラウドスピーカーへ送られる電力が減少し、レスポンス（ダンピングファクタ）の変動も生じます。

直列抵抗が負荷インピーダンス（ダンピングファクタ= 25）の 4%以下の場合、最大ケーブル長は以下のように計算します。

$$L_{\max} = Z \times S \quad S \text{ (単位: mm}^2\text{)}、Z \text{ (単位: } \Omega\text{)}、L_{\max} \text{ (単位: メートル)}$$

以下の表では、3種類の一般的なサイズに対する値を示しています。

負荷インピーダンス ( $\Omega$ )	2	3	4	6	8	12	16
ケーブル断面積	最長 (メートル)						
1.5 mm <sup>2</sup> (AWG #14)	3	4.5	6	9	12	18	24
2.5 mm <sup>2</sup> (AWG #12)	5	7.5	10	15	20	30	40
4 mm <sup>2</sup> (AWG #10)	8	12	16	24	32	48	64

#### 重要注意事項

スピーカーケーブルが長いと、ケーブルの品質によっては最高で数百 pF という出力容量への影響が生じ、高周波成分でローパス効果が見られます。長いスピーカーケーブルの使用が避けられない場合は、使用の際にケーブルが巻いたままになっていないよう確認してください。

### 3 45° N-12 で使用する アンプの選択

NEXO ではどんな場合にも高出力のアンプの使用を推奨します。予算的にやむを得ない時のみ低出力アンプを選んでください。低出力アンプだからといって、過度のエクスカッションによるドライバー損傷の可能性を低減することはありません。むしろクリッピングが続いて熱損傷のリスクが増加します。保護されていない設置システムでこのような状態が発生した場合、-3dB という定格出力の半分しか出力しないアンプを使用していたとしても、損傷の可能性には変わりありません。これはシステム内の最も弱いコンポーネントの RMS 出力処理が常にアンプの定格値より 6~10 dB 低いという事実によります。

#### 3.1 45N12 推奨アンプ

NEXO では以下の表に合ったアンプを推奨します。

推奨 アンプ#	チャンネル1 LF がアクティブモード、または LF+HF がパッシブモード	チャンネル2 HF がアクティブモード
45N12 がパッシブモード	1200 ~ 2000 W / 8 Ω	
45N12 がアクティブモード	1000 ~ 1500 W / 8 Ω	250 ~ 500 W / 16 Ω

##### 3.1.1 電流定格値

アンプが低負荷状態で正しく作動することが非常に重要です。スピーカーシステムは本来敏感なものです。音楽のような過渡的信号では、公称インピーダンスが示す値より 4~10 倍の瞬間電流が必要です。アンプは通常、抵抗負荷へ入る連続 RMS 出力値で表わされますが、電流容量についての唯一の有益な情報は、2Ω の負荷に入る値です。実際に使用する 2 倍の数のキャビネットをアンプに接続し（チャンネルごとに 1 台でなく 2 台のスピーカー、あるいは 2 台でなく 4 台のスピーカー）、クリッピングが生じるまでアンプ出力を上げることでアンプのリズニングテストを行うことができます。信号の劣化があまり見られない場合は、そのアンプは適しているということです（約 10 分後に過熱するのは通常ですが、その場合テスト開始後すぐに過熱保護機能が働くことは良くありません）。

##### 3.1.2 アンプの設定

###### ゲイン値

ゲインはシステムの整合性を補正するカギです。ご自分のセットアップで使用されているアンプすべてのゲインを把握しておくことは特に重要です。許容差は約±0.5 dB です。ただし実際にはこの値は以下の理由から達成しにくくなっています。

アンプのブランドによっては、異なる定格電力のモデルでも同一の入力感度を持っています（これはモデルごとに電圧ゲインが異なることを意味しています）。たとえば出力の異なるアンプが数台あり、どれもが仕様では入力感度が 775mV/0dBm または 1.55V/+6dBm となっていると、実際のゲインはかなりの幅が出ます。パワーが大きいほどゲインも大きくなります。

他の様々なブランドでは固定ゲインをうたっていますが、これはある特定の製品範囲内のみであり、たとえばセミプロ用のアンプでのみ固定入力感度を導入している場合があります。

メーカーが全モデルに固定ゲインの規則を当てはめたとしても、その選択値は必ずしも他のメーカーが選んだ値と同じであるとは限りません。

製品によっては同じモデルでも ±1dB 以上の製造許容差が見られます。改造されているアンプもあり、新しい値を表示したラベルがない場合もあります。また、ゲインスイッチが内蔵されていて、アンプ本体のケースを開けなければユーザーが実際の設定を確認することができない場合もあります。

お使いのアンプのゲインがわからない場合（またはチェックしたい場合）は、以下の手順に従ってください。

- アンプの出力端子からラウドスピーカーの接続をすべて外します。
- 1000Hz のサイン波を既知電圧 ( ~ 0.5V ) で試験対象アンプの入力端子に送ります。
- アンプの出力端子での電圧を測定します。
- 公式  $\text{Gain} = 20 * \text{LOG}_{10}(\text{Vout}/\text{Vin})$  を使用してゲインを計算します。

例：

Vin / ゲイン	20dB	26dB	32dB	37dB (1.4V 感度/ 1350Wrms)
0.1 V	1 V	2 V	4 V	7.1 V
0.5 V	5 V	10 V	20 V	35.4 V
1 V	10 V	20 V	40 V	70.8 V

アンプの電力が異なると、感度を固定設定してもゲイン値が異なるということにご注意ください。

NEXO では、ゲインが 26 dB のアンプを推奨します。これは、適度に低いだけでなく、アンプメーカーの間で非常によく使われている数値だからです。このゲイン設定では S/N 比が向上し、NX242-ES4 TD コントローラーを含むすべての電子機器が最適なレベルで作動します。高ゲインアンプを使用すると、ノイズフロアが比例して大きくなります。

### 作動モード

プロオーディオ市場に出ているほとんどの 2 チャンネルアンプには、次の作動モードがあります。

ステレオ：2 系統の完全に独立したチャンネルが同一の出力を同一の負荷へ信号を送ります。

NEXO は 45° N-12 モニターへ信号を送るアンプチャンネルすべてについて、ステレオモードの設定を推奨します。

ブリッジ - モノ：2 本目のチャンネルは 1 本目のチャンネルと同じ入力信号を処理しますが、位相は逆になります。(1 つの) 負荷が、適切な接続手段で、2 つの正のチャンネル間に接続されます。アンプの全出力量は同じですが、利用できる出力電圧、接続可能な最小インピーダンス、電圧ゲインが、ステレオモードと比べて倍になります。通常はチャンネル 1 入力だけがアクティブです。正と負の出力接続はアンプメーカーによって異なります。

NEXO は、アンプ出力が明らかに不十分な場合を除き、ブリッジ - モノモードをお勧めしません。

### 重要注意事項

**ブリッジ - モノモードの時は、入力位相に対する出力 1(+) と (2+) の正しい接続を、取扱説明書で確認してください。**

パラレル - モノ：2 系統のチャンネルの出力端子が内部リレーを使用して並列に設定されます。(1 つの) 負荷が、チャンネル 1 の出力またはチャンネル 2 の出力に接続されています (ステレオモードに相似)。アンプの全出力は同じで、出力電圧レベルもステレオモードと同じです。電流容量が倍になるため、接続できる最小インピーダンスは半分に減ります。通常はチャンネル 1 入力だけがアクティブです。

NEXO では、PS シリーズスピーカーの増幅にはパラレル-モノモードを推奨しません。

### アンプ信号処理機能についての注意

高級機種のアンプの中には、NX242 TD コントローラーと似た信号処理機能を持つものがあります (「ラウドスピーカーオフセットインテグレーション」、「リミター」、「コンプレッサー」など)。更に、この処理がデジタルの場合、計算による遅延時間 (レイテンシー) によって、入力から出力まで数ミリ秒の遅れが生じる可能性があります。このような機能は特定のシステム要件によっては適しておらず、NEXO TD コントローラーで使用する複雑な保護アルゴリズムとの干渉が発生する場合があります。

NEXO TD コントローラーの使用時には他の保護システムを使わず無効にしておくことをおすすめします。

### 重要注意事項

システムを適切に保護するために、NEXO TD コントローラーの出力とラウドスピーカーの入力の間で、内蔵アンプ信号処理などの DSP モジュールを使用することでレイテンシーや非リニア機器を導入しないでください。

## 3.2 45° N-12 およびNXAMP TDコントローラー

NEXO パワード TD コントローラー、NXAMP 4X1 & 4X4 は、NEXO スピーカー全製品にわたってコントロール/増幅のための総括的なソリューションです。

NXAMP4x1 および NXAMP4x4 は以下の出力電力に対応します。

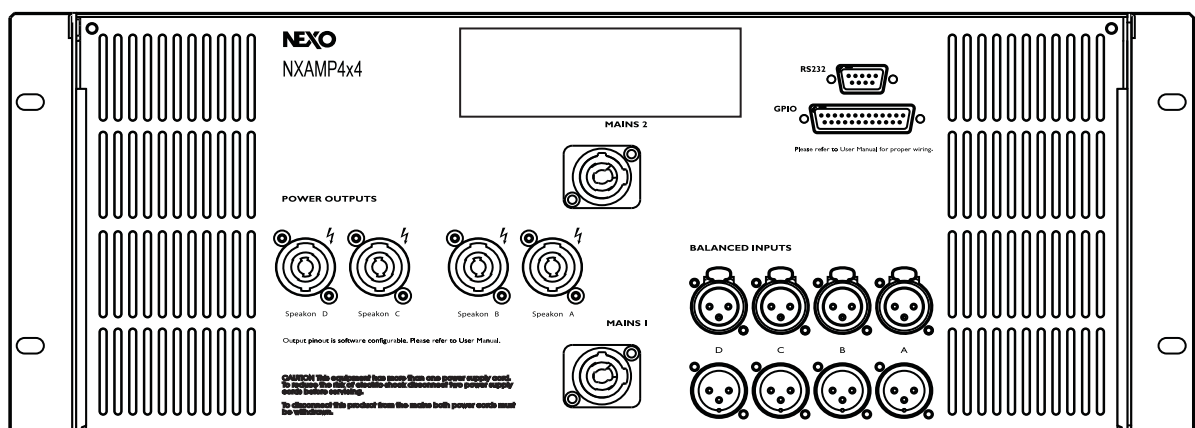
モード	4チャンネル	ブリッジステレオ
NXAMP4x1	4 x 650 ワット/ 8 Ω	2 x 1800 ワット/ 8 Ω
	4 x 900 ワット/ 4 Ω	2 x 2600 ワット/ 4 Ω
	4 x 1300 ワット/ 2 Ω	
NXAMP4x4	4 x 1900 ワット/ 8 Ω	2 x 6800 ワット/ 8 Ω
	4 x 3400 ワット/ 4 Ω	2 x 8000 ワット/ 4 Ω
	4 x 4000 ワット/ 2 Ω	

### 3.2.1 NXAMP の端子類

NXAMP4x1 および NXAMP4x4 のリアパネルの特長

- アナログ入出力 (リンク) 4 系統、XLR3 端子
- デジタル入出力 4 系統、RJ45 端子、別売のカード用スロット
- スピーカーレベル出力 4 系統、NL4FC 端子

以下の図はリアパネルの端子類の位置を示したものです。



### 3.2.2 45° N-12 およびNXAMP の推奨設定

以下の表は、NXAMP TD コントローラーを 45° N-12 と組み合わせて正しく使用するための基本的な要件です。

パッシブモード

アクティブモード

1 または 2 x 45° N-12	NXAMP4x1 の 1 チャンネルがブリッジステレオモード NXAMP4x4 の 1 チャンネルが 4 チャンネルモード	NXAMP4x1 の 2 チャンネルがブリッジステレオモード NXAMP4x4 の 2 チャンネルが 4 チャンネルモード
3 x 45° N-12	NXAMP4x4 の 1 チャンネルが 4 チャンネルモード	NXAMP4x4 の 2 チャンネルが 4 チャンネルモード

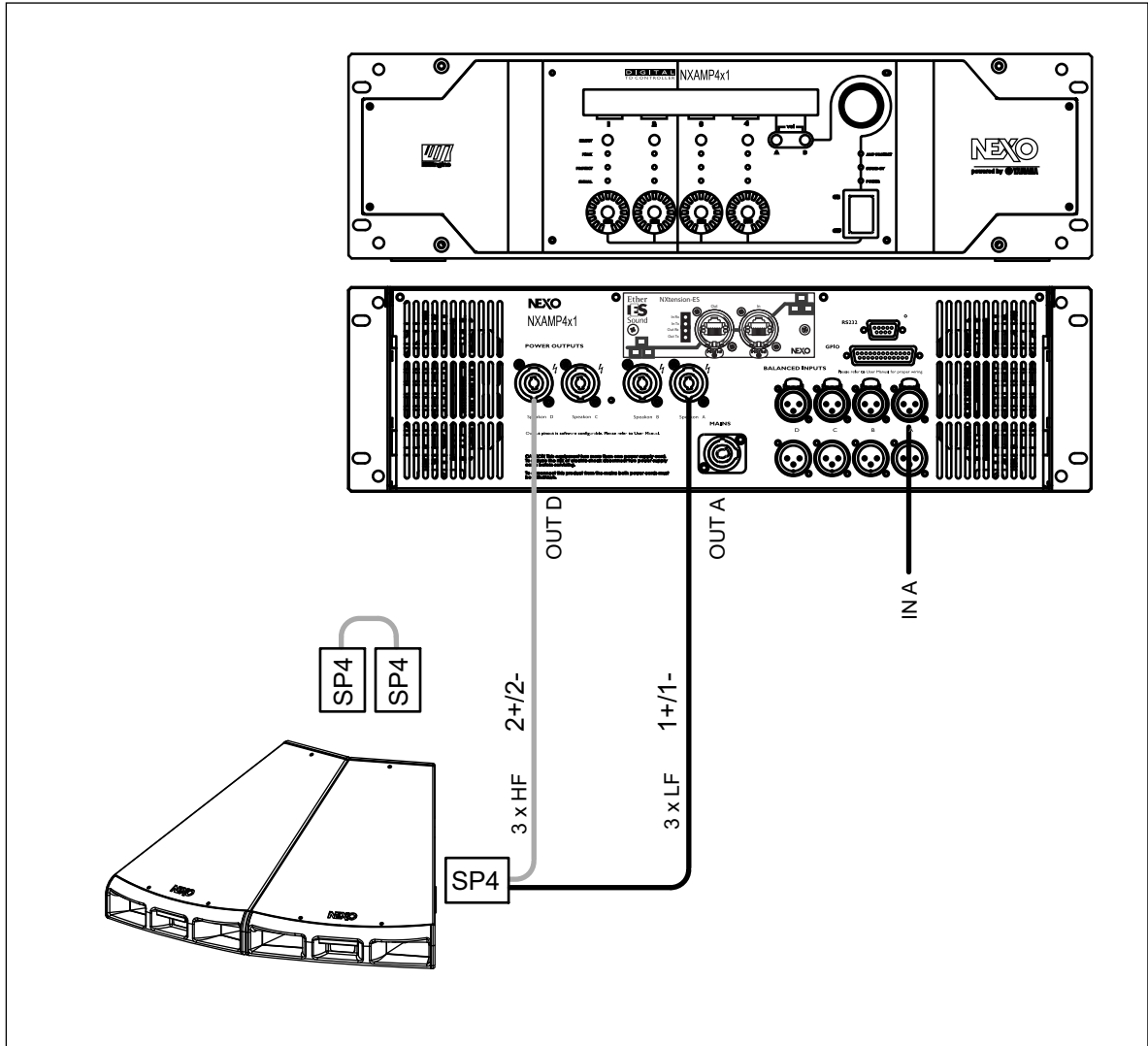
特定の設定についての詳細は、以下の文書（[www.nexo-sa.com](http://www.nexo-sa.com)で入手可能）を参照してください。

- NXAMP4x1 および NXAMP4x4 の取扱説明書
- NXAMP 使用ガイドライン
- NXAMP 負荷セットアップリスト

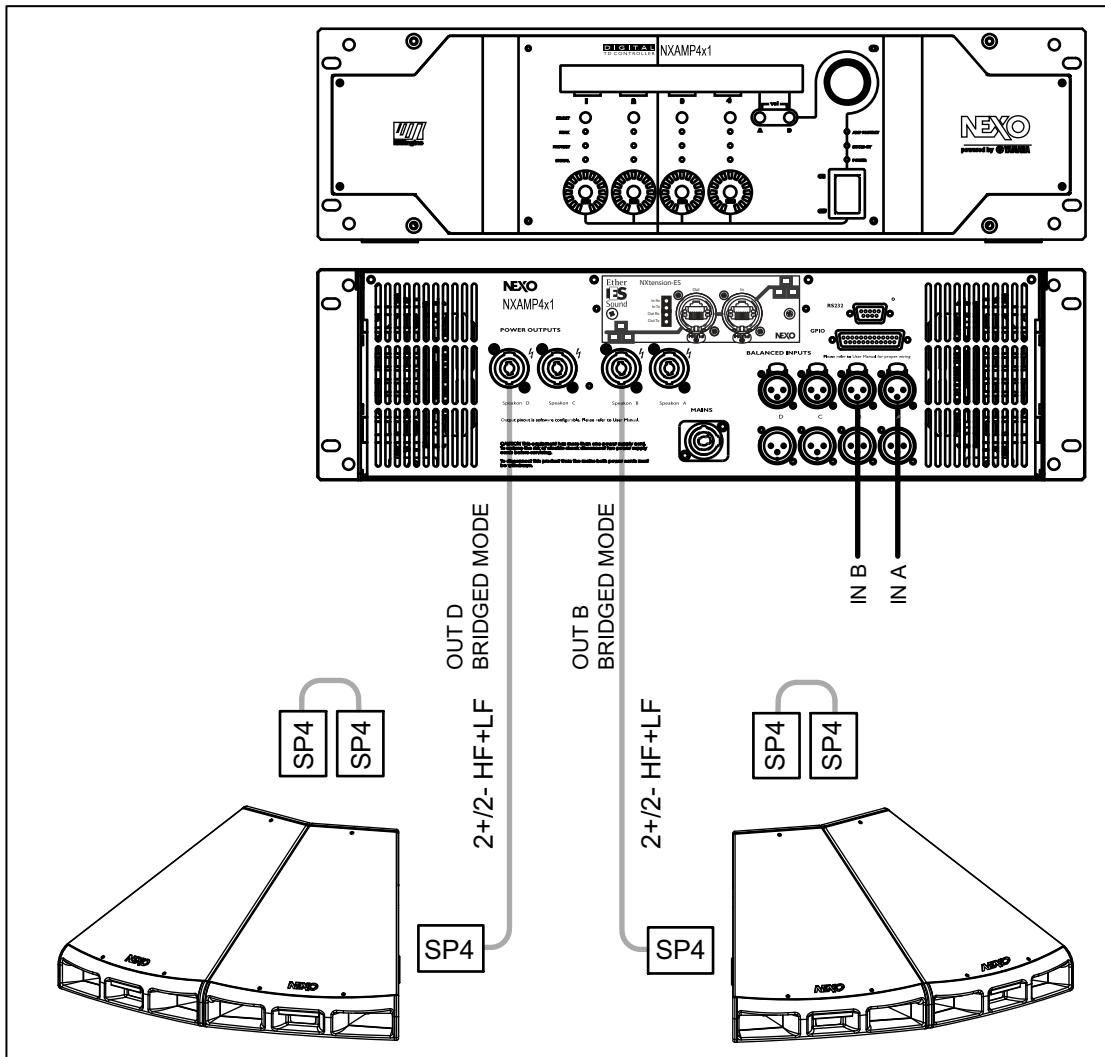


## 4 接続図

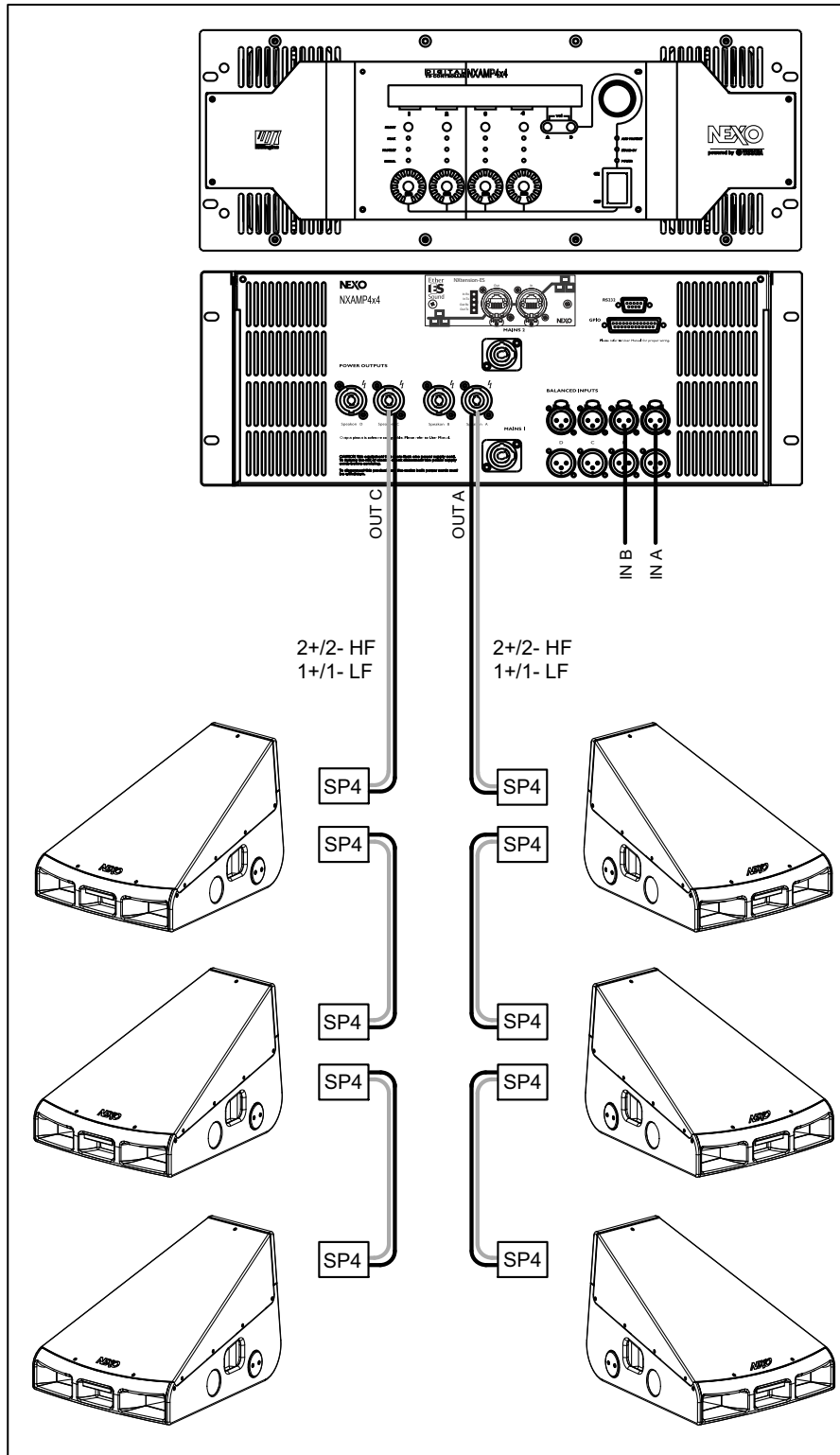
### 4.1 45° N-12 / NXAMP4x1 - ブリッジステレオ - アクティブモード



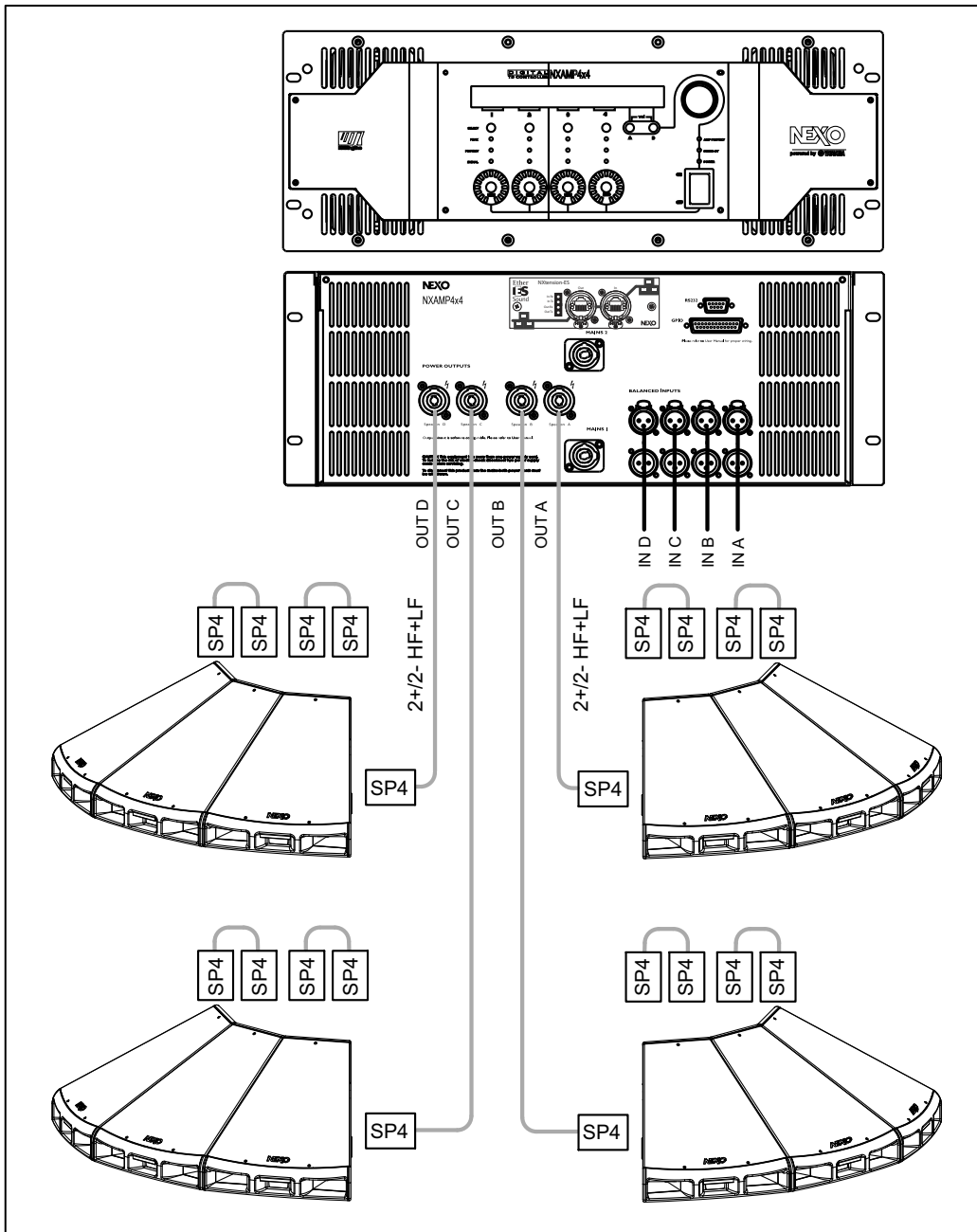
## 4.2 45° N-12 / NXAMP4x1 - ブリッジステレオ - パッシブモード



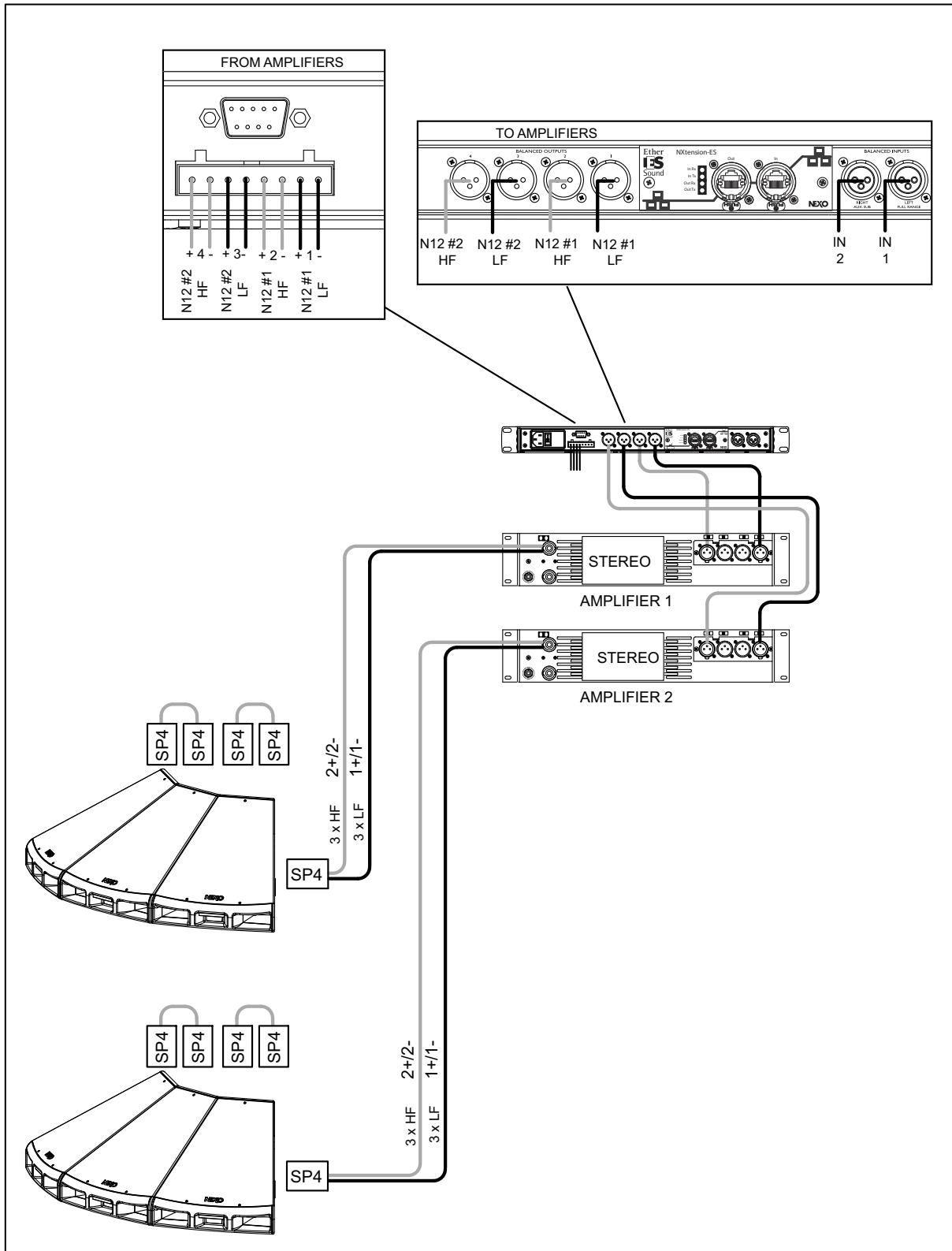
### 4.3 45N12 / NXAMP4x4 - 4 チャンネル - アクティブモード



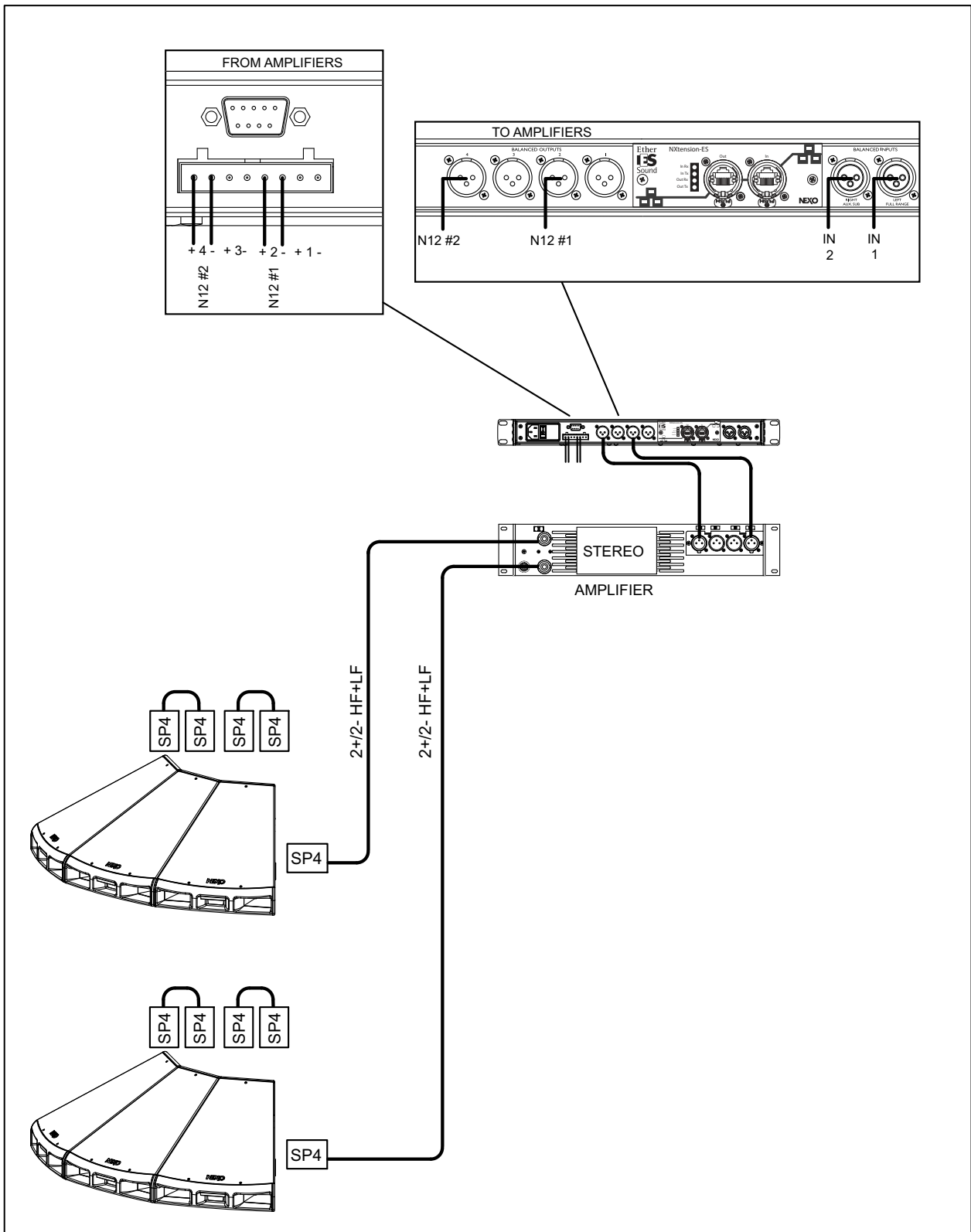
#### 4.4 45° N-12 / NXAMP4x4 - 4チャンネル - パッシブモード



### 4.5 45° N-12 / NX242-ES4 - アクティブモード



### 4.6 45° N-12 / NX242-ES4 - パッシブモード



## 5 使用ガイドライン

### 5.1 安全第一

45° N-12 の設置を始める前に、コンポーネントがすべて揃っており損傷のないことを確認してください。足りない場合はサプライヤーにご連絡ください。

統計的には、吊るされたシステムよりも不安定な土台の上に設置されたシステムによる怪我の数が多くなっています。この事実にはいくつかの理由がありますが、以下の注意に従ってください。

45° N-12 の設置を支える構造をよく調べてください。ステージ上の土台を検査し、アクセスできるように必要に応じてステージの幕や覆いなどを除去するよう依頼してください。

劇場の中には舞台の床面が傾いている場合があるので、振動によってシステムが前方に滑らないよう注意してください。このため、ステージの床に当て木などを置くことが必要な場合もあります。

屋外のシステムでは、強い風によってモニターシステムが不安定になる場合もありますので、防風対策が必要です。特に規模の大きいシステムでは受ける風力が大きくなる場合もあり、過小評価は禁物です。気象予報に注意し、設置積載前にシステムへの「最悪のケース」を計算して、システムが必ず適切に固定されるようにしてください。

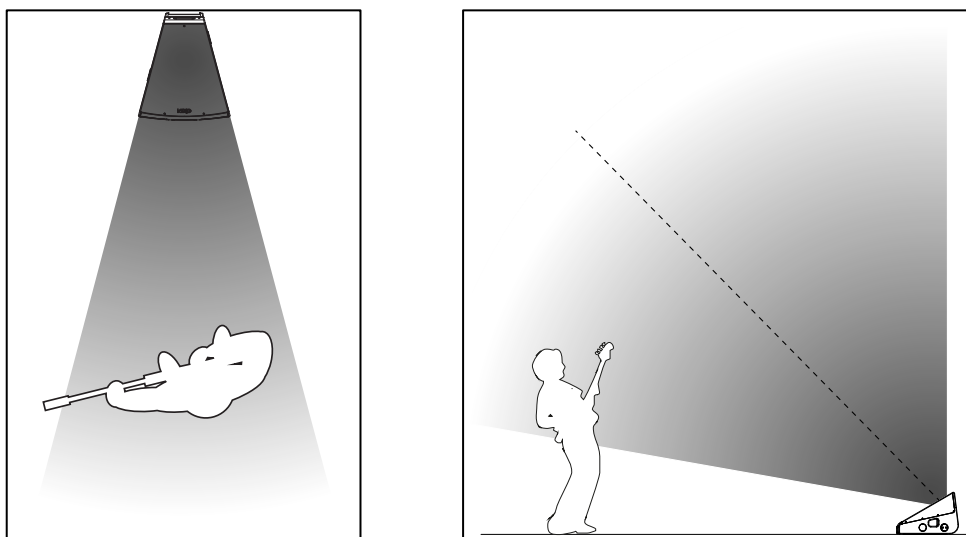
安全手順は運搬トラックや倉庫内でも重要であると同様に、会場でも重要であることにご注意ください。

### 5.2 45° N-12 の指向角度

以下の図は 45° N-12 の水平および垂直方向の指向角度を示しています。

主な指向角度は以下のとおりです。

- 水平方向に 30°。ユニットを配列することで 30° ごとに調整可能
- 垂直方向に非対称角度。周波数特性のレベルが  $\pm 3$  dB で 0~2 メートル



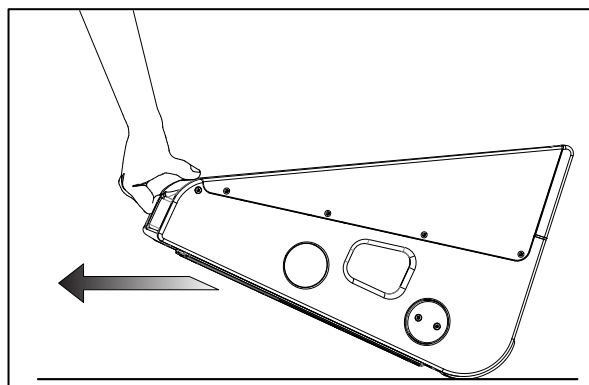
水平方向と垂直方向の指向角度

### 5.3 ステージ上での 45 N-12 の取り扱い

#### キャビネットの移動

45° N-12 をすばやく移動するには以下の手順に従います。

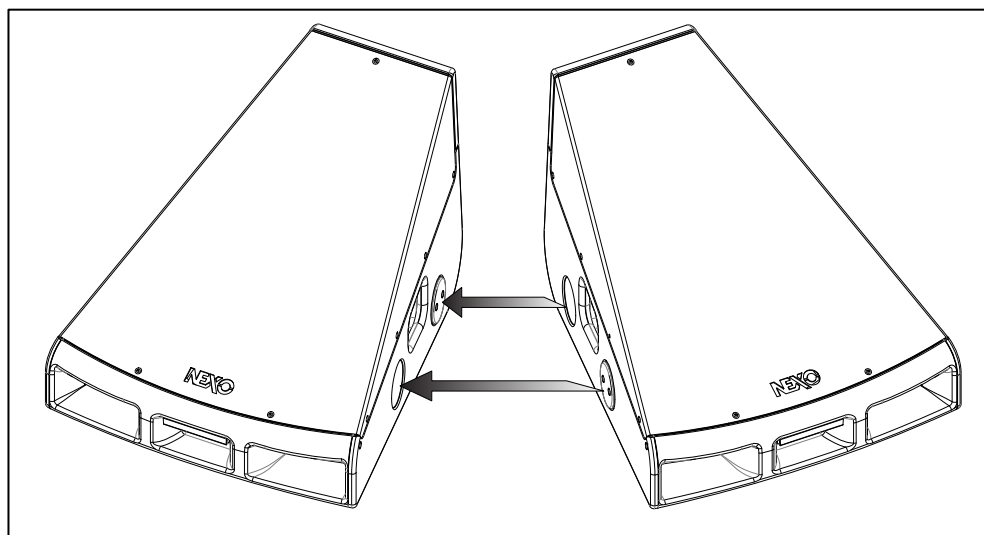
- 前面のハンドルを持ってキャビネットを持ち上げます。
- リアの滑材部分でスライドして移動させます。
- 新しい位置で前面をおろします。



#### キャビネットのロック

搭載の磁気ロックシステムで、他に部品を追加することなく複数のモニターがリンク可能です。

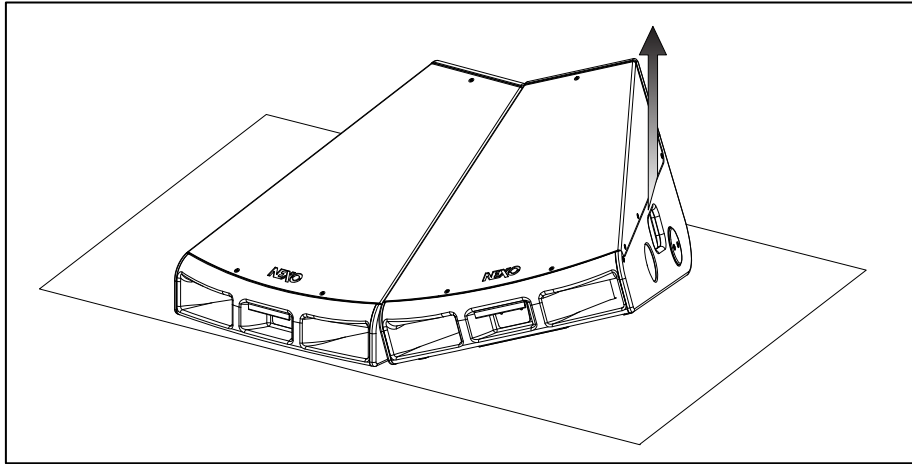
キャビネットを左右に並べるだけでロックできます。





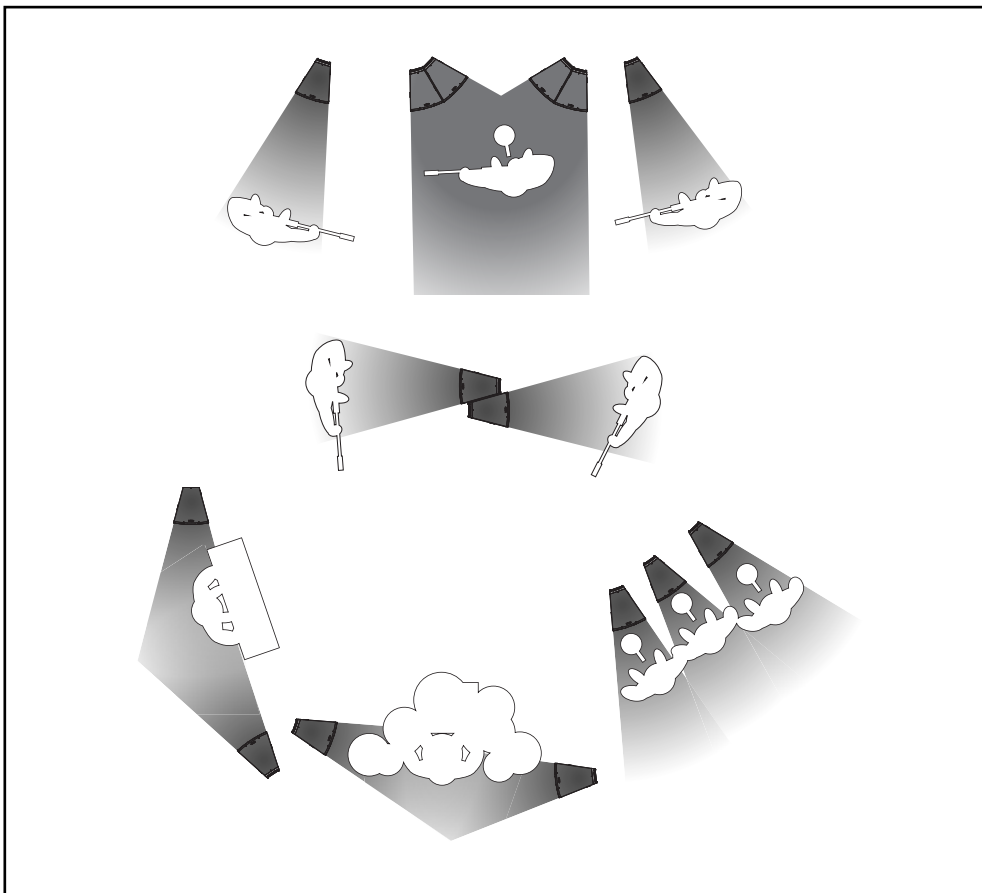
### キャビネットのロック解除

キャビネットのロックを解除するには、片側のハンドルで持ち上げます。キャビネットが簡単に外れます。



### 5.4 ステージモニターとしての使用

以下の図は、45° N-12 ラインモニターの様々な使用例を示しています。



## 5.5 システムの試験と保守

清掃：キャビネット表面は、マイルドな洗剤の入った水に湿した布で拭いてください。

キャビネット表面を傷つけることがありますので、溶剤のクリーナーは絶対に使用しないでください。

清掃後は 45° N-12 のフロントグリッドに適切な潤滑油を塗って錆を防ぎます。

NEXO は Scottoil FS365 の使用を推奨します。これは機械油、界面活性剤、坊錆剤混合の水性潤滑剤です。

## 6 45° N-12 技術仕様

### 6.1 システム仕様

システム仕様	
再生周波数特性 [a]	55 Hz ~ 19 kHz ±3dB
再生周波数帯域 @-6dB [a]	50 Hz ~ 20 kHz
感度1W @ 1m [b]	106 dB SPL Nominal - 104 dB SPL Wideband
最大音圧レベル @ 1m [b]	1台 137 ~ 140dB ピーク / 2台:140 ~143dB ピーク
高域指向角度[c]	30° 水平- 配列時30° ごとに拡張可能 22.5° 斜め (カブリング面) - 配列時22.5° ごとに拡張可能 60° 垂直 (非対称-45° / +15° ).
クロスオーバー周波数	LF-HF:1kHz アクティブまたはパッシブ (内部設定可能)
公称インピーダンス	アクティブ低域 8Ω, 高域 16Ω. パッシブ 8Ω.
推奨パワーアンプ出力	アクティブ低域 1000 ~1500 W 8Ω・ / 高域 250 ~500 W 16Ω. パッシブ 1200 ~2000 W 8Ω.
システム作動	
電子コントローラー	NEXO TDコントローラーのプリセット設定は 45N シリーズキャビネットと正確にマッチしており、高度な保護機能を搭載しています。 NEXO TDコントローラーを正しく接続せずに45° N-12 キャビネットを使用すると、音質が悪化したりコンポーネントの損傷が生じたりします。
指向角度設定	内蔵マグネットにより、45° N-12 のキャビネットを相互にロックして、指向角度/音圧レベルを調整可能
サブバス	LS600 はシステムの低周波特性を 38 Hz まで下げます。
スピーカーケーブル	アクティブ : 1-/1+:低域; 2-/2+:高域. パッシブ : 1-/1+:未接続; 2-/2+:LF + HF.
製品の特長	
コンポーネント : 低域 [VLF] 高域	低域 「 1 x 12" (30 cm) 高エクスカージョン ネオジム8Ω・ドライバー 高域 1 x 3" ボイスコイル、 1.4" スロートネオジム 16Ω・コンプレッションドライバー - 22.5° の双曲面反射型ウェーブソース上
高 x 幅 x 奥行	392 x 492 x 576 mm (15.43" x 19.37" x 22.67").
質量 : 純	24 kg (53 lbs).
コネクタ	2 x NLAMP スピコン 4P
構造	本体構造 : バルティックバーチ材合板、表面仕上げ : 構造性を有する黒色塗装 リア下部および底面部 : スチール製、ダークグレー塗装 フロントベントおよびリア上部 : 射出ポリウレタンのフロントベント、黒色塗装
装着品 :	ハンドル 4 本 (2 個 : 側面、金属、凹部。2 個 : フロント、リア、形成)
フロント仕上げ	有孔金属グリッド (ダークグレイ)
ロック機能	メカニカルロック用内蔵マグネット

継続的な改善方針の一環として、NEXOは予告なく仕様を変更する権利を保有します。

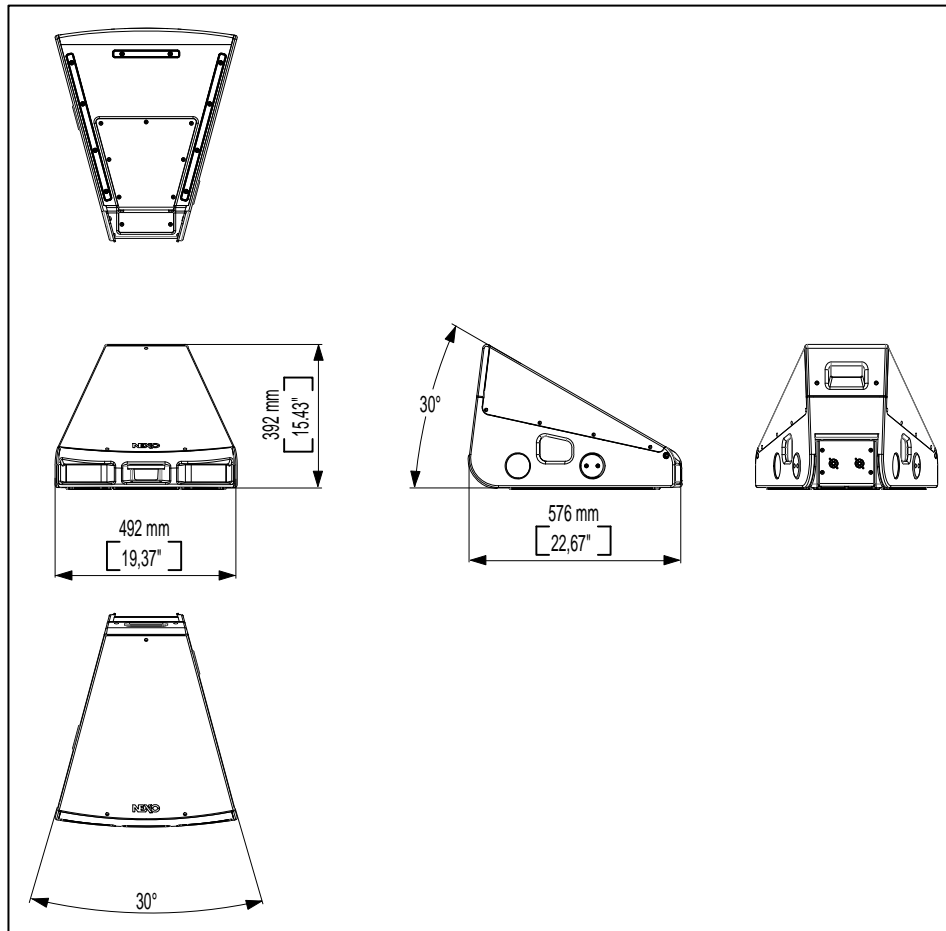
[a] 特性曲線とデータ : 45° N-12 + NXTD コントローラーの壁面設定でのファーフィールド

[b] 感度および最大音圧レベルデータ : プログラム材料のスペクトル分布および波高率によります。帯域限定ピンクノイズで測定  
Nominal はVoice Decade (300Hz - 3kHz)、Wideband は規定の ±3dB レンジです。データはスピーカー + プロセッサー + 推奨アンプの組合せに対するものです。

最大音圧レベルは推奨アンプのクリッピングでのレベルです。

[c] 指向性曲線およびデータ : 軸外特性曲線のコンピュータ処理により作成

## 6.2 寸法



## 6.3 コンポーネントリスト

モデル	図	内容
45N12		45N12 スピーカー
NX 242-ES4		デジタル TD コントローラー
NXAMP4x1		デジタルパワーコントローラー 4x1300W
NXAMP4x4		デジタルパワーコントローラー 4x4000W

## 7 ユーザーメモ

フランス

Nexo S. A.

Parc d' activité de la dame  
jeanne

F-60128 PLAILLY

電話 : +33 3 44 99 00 70

ファクス : +33 3 44 99 00 30

Eメール : [info@nexo.fr](mailto:info@nexo.fr)

[www.nexo-sa.com](http://www.nexo-sa.com)